

留学体験レポート

国際文化学科

21018124 湯田真子

私は8月31日～12月26日の約4ヶ月間、韓国ソウル市の慶熙大学校で留学という貴重な体験をさせていただきました。

はじめに、生活面について話をします。私たちが暮らしていた寄宿舎は大学から徒歩10分程でした。部屋には初めからある程度の電化製品が揃っていたのでさほど不便ということはありませんでした。最寄りのフェギ駅周辺にはスーパー、コンビニエンスストア、薬局など沢山のお店があり、必要な物はほぼフェギで揃えることが出来ました。レジ袋は有料のお店がほとんどだったので、買い物に行く際はエコバックを持って行きました。支払いはほぼクレジットカードで済ませていたので現金はあまり使いませんでした。ソウルは韓国の中心地なのでどこに行くにしてもさほど移動に時間は掛からず、1日で沢山の場所を観光することが出来ました。移動は主に電車かバスでした。どちらもTマネーカード（日本でいうスイカのようなもの）をチャージして使っていました。Tマネーカードはコンビニなどに売っています。休日には私はよくカフェにいったり勉強をしたり、好きなK=POPアイドルのカップホルダー（誕生日になると配布される所が多い）を集めていました。お勧めは梨泰院や新沙辺りです。お洒落なカフェが多いです。また食べ物屋は安く美味しい所が多かったです。留學生活前半はよく外食をしましたが、後半は自炊をする日が多かったです。

つぎに、学校生活について話をします。9月は国際情報大学だけの授業（初級Ⅰ）で、10月からは世界各国の人々と一緒のクラスになり授業を受けました（初級Ⅱ）。授業は午前と午後に分かれていて、1、2時間目は文法、3、4時間目はリスニング、スピーキングを勉強しました。午後は国際情報大学だけの授業で、ドラマ、ゼミ、歌、韓国文化に触れあう課外授業など様々な体験をしました。考査は中間と期末があり、どちらも二日間行われました。内容は、文法、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの五科目ありました。難易度はそこまで高くないです。きちんと予習復習すれば大丈夫だと思います。他の国の方と話すことは、初めは勇気がいると思いますが、話しかけてみると皆優しくしてくれたのでそこまで心配はしなくていいと思います。基本クラスの子達とは共通語である韓国語でコミュニケーションをとりました。仲が良い子同士で放課後や休日に色々なところに出かけたり、テスト期間にカフェや図書館で勉強したりしました。色々な人と交流を続けていくうちに今まで感じたことのなかった様々な視点から物事を捉えることが出来ました。また慶熙大学校にはトウミ制度（学生サポーター）というものがあり、基本留学生1人につき韓国人1人がついて1週間に一度程度お会いする機会がありました。私は一緒にご飯を食べに行ったりカフェに行ったりして、交流を深めました。出会

った当初はまだ韓国語が不十分で自分の伝えたいことがうまく伝えられないということが多々ありましたが、トウミの方が必死に理解しようとしてくださったのでなんとか会話が出来ました。日を重ねて交流を深めていくと徐々に自分の韓国語能力が上がっていく実感がありました。

さいごに、環境について話をします。韓国は日本に比べて年降水量が少なく、乾燥していました。pm2.5 警報が出る日があるほど pm2.5 も多かったので事前にマスクを多めに買っておいた方が良いです。(pm2.5 の空気を吸いすぎると肺炎になる可能性もあります…) また、冬季は朝でも気温が氷点下になる日があるので防寒対策はきちんとしました。ペディンコート (ダウンコート) を買うことをお勧めします。

おわりに、韓国留学を考えている方々に今回の私の体験談が参考になりましたら光栄です。留学の4ヵ月間は長いようであつという間でした。この貴重な経験を悔いの残らないよう充実して過ごしてほしいです。